

職員による自己評価

A環境面

- ・スペースの確保は、適切だと思っている職員が大半である。
- ・職員配置については適切と考えている職員が2/3で去年に比べて増えた。
- ・バリアフリー化については意見が分かれ、階段の手すりの必要性の意見があった。
- ・非常勤職員が自己評価表をホームページに掲載していることを知らなかった。

B児童への支援内容

- ・全体的に良いと感じている。

C関係機関との連携

- ・保護者に対しての連携は概ねできていると感じている。
- ・父母の会等については開催していない。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者に活動概要や連絡体制等の情報を発信していると感じている職員が多い。

E非常対応

- ・マニュアルは周知されている。
- ・避難訓練をおこなっている。

保護者による評価

A環境面

- ・適切なスペースの確保、職員配置数は概ね適切と考える人が多い。
- ・バリアフリー化について“どちらともいえない”“いいえ”の意見があった。階段は意見があった。

B児童への支援内容

- ・個別支援計画はニーズや課題が分析された計画がされていると思っている人が多い。
- ・活動を工夫していると思っている人が多い。
- ・放課後児童クラブや児童館など交流を希望されている方は1/3で“どちらでもない”“希望しない”と答えた方のほうが多い。

C事業所からの情報発信

- ・事業所からの情報発信や説明は概ね良好だと思っている。
- ・ホームページを開設しているが見ていないという意見があった。
- ・父母の会などは“希望する”“どちらでもない”“希望しない”がほぼ同数。
- ・非常時のマニュアルや避難訓練について概ね周知されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童の支援内容についての認識は共通であった。
- ・環境面についても共通点が多い。
- ・スペースの確保、職員配置数は共通認識だった。

【保護者の希望について】

- ・放課後児童クラブや児童館など交流を希望されている方は1/3で“どちらでもない”“希望しない”と答えた方のほうが多い。
- ・父母の会などは“希望する”“どちらでもない”“希望しない”がほぼ同数

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・保護者の説明等についての評価が高い。
- ・職員間のミーティング、打ち合わせ、振り返りをおこなっている。
- ・支援内容について、保護者から評価されている。
- ・職員は支援について意識が高い。

事業所の改善点

- ・2階の階段が急だが手すりがない。
- ・職員、保護者にホームページの周知が再度必要。
- ・個別支援計画の流れ、自己評価などについて取り組みを知らない非常勤職員がいる。

事業所の改善への取り組み

- ・階段に手すりを付けることを検討する。
- ・ホームページについて保護者、職員に再度周知をする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ホームページなどについて、保護者、非常勤職員に周知されていないことに気づいた。
- ・環境などの改善を踏まえより良い支援ができるよう努力していきたい。

事業所名 キッズサポート・きらら

担当者 大島 靖子